

## 会議録

会議の名称	西東京市立田無第四中学校及び西東京市立柳沢中学校の生徒数の変動への対応に関する地域協議会（第4回会議）
開催日時	平成31年1月15日（火） 午前10時00分から午前11時00分まで
開催場所	イングビル市民会議室
出席者	<p>&lt;委員&gt; 瀬沼 洋子、野口 由佳、本名 修也、島崎 里子、辻 未来子、神山 繁樹、篠宮 武男、竹平 真由美、清水 宣宏、荘 葉子、篠徳子、山縣 弘典、村山 八枝子、横山 常雄、小松 豊明、幸 由希、高野 公子、勝見 俊也、仙田 初枝、河合 奈美子、東山 信彦（順不同・敬称略）</p> <p>&lt;事務局&gt; 森谷 修（教育部参与兼教育企画課長）、大谷 健（教育企画課副主幹兼学務係長）、根岸伸太郎（教育企画課学務係主査）、室田 真衣（教育企画課学務係主事）</p>
傍聴者	2人
議題	<p>1 開会</p> <p>2 地域協議会検討結果報告書（案）について</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p>
会議資料の名称	<p>資料1 地域協議会（第3回会議）会議録</p> <p>資料2 田無第四中学校及び柳沢中学校の生徒数変動への対応に関する地域協議会検討結果報告書（案）</p> <p>資料3 検討結果報告書の変更点について</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>&lt;○発言者：発言内容&gt;</p> <p>開会</p> <p>議題2 地域協議会検討結果報告書（案）について</p> <p>○事務局：資料2、3について説明。</p> <p>○会長：ただ今の説明について、感想又は質問のある方は挙手願いたい。</p> <p>○委員：2点ある。1点目が「現地施設」という言葉が載っているが、「現行施設」という言葉とは分けて使われているのか。2点目は、学校選択制度の取扱いについては、検討はするが今回は結論に至らないということだが、スケジュールとしてはどう考えているか。</p> <p>○事務局：「現地施設」という表現については、基本的には「現行施設」と同じ考え方になるため、統一させていただく。違いはないが、「現地施設」という表現で統一させていただくということよろしいか。</p> <p>○委員：その場合、どういう意味か。「現行施設」という表現は分かるが、「現地施設」というと、現地にはない施設と考えるのか。</p> <p>○事務局：中学校の学校施設を「現地施設」と呼んでいる。グラウンド等も含めた広い意味となると「現地敷地内」という表現になるが、「現地施設」はあくまでも建物の中で対応していくという意味である。</p>	

○委員：了承した。

○事務局：次に学校選択制度についてだが、これまでPTAの役員の方々との意見交換の際や協議会の中で、学校選択制度に関する様々な御意見をいただいている。学校選択制度については田無四中の取組の中で主に触れているが、他のところでは大きく触れていないため、今後の課題として検討を進めていくことになると考えている。今回は田無四中で受入制限させていただくという方向性を出させていただいた。しかし、児童生徒推計の見通しを立て難いこともあり、今後は全市的な話として、全ての学校の流入と流出の両方の側面を考え、そのあり方を検討させていただきたいということで、今後の課題として今までの意見を含ませていただいた。

○委員：田無四中については、学校選択制度の受入制限を第一段階で行い、一方で柳沢中については周辺地域の学校選択制度の受入制限の検討が二段階目ということだが、その場合のそれぞれの段階のスケジュールはどうか。

○事務局：今の推計では、田無四中は2021年から生徒数がオーバーしていくことになるが、各年度の状況に合わせて制限していくことになる。毎年の状況を見て検討しながらお示ししていきたいと思っている。

○委員：了承した。

○会長：それでは第3回と同様に15分間程各校ごとに今回の報告書（案）に関する感想等、グループで話し合っていたいただき、その後、意見を共有したいと思う。

#### ■各校における意見の発表

##### 【田無小学校】

○委員：予測児童生徒数は難しく、傾向が出しにくいいため、もしかしたら6～7年のスパンで見ると減少していくこともあるのではないかと思う。田無小の通学区域も大きな街道や踏切を渡って登校する必要がある区域があるが、中学校進学の際も踏切を渡ると大きな街道を渡るのとどちらが良いか等という問題も各家庭の中での悩みの一部である。また、学校選択制と指定校変更については、1～2歳の歳の差であれば良いが、4～5歳の歳の差の兄弟姉妹のいる家庭では、これまで学校選択ができていたのができなくなる等、長い目で見ると兄弟でも違う中学校になる可能性がある。西東京市の特徴で丁目の境が複雑に入り組んでいる地域もあるが、今後の課題であろう通学区域の見直しや学校選択の話も、難しい問題であるという話をした。

##### 【保谷第二小】

○委員：保谷第二小の来年度の新1年生の学校選択や指定校変更の動向を見ると、柳沢小区域から来る子どももいれば、その逆もあり、また学級数が増えている向台小区域から来る子どももいる。そういった意味では保護者はそれぞれ目的を持って小学校を選んでいるという現状があるので、中学校も田無四中に行くか柳沢中に行くかということについても、保護者は同様の視点で選択していると思う。また、今回の会議に出席し、今後、保谷第二小と柳沢中の連携を強めていきたいという思いを持った。ぜひにとは言わないが、「柳沢中に係る取組」とあるが、私達としては「保谷第二小、柳沢中に係る取組」としていただきたいという気持ちでいる。

##### 【東伏見小】

○委員：協議会の中でそれぞれの地域の思いが出されていた中で、報告書の中ではそれぞれの考えをうまく取り入れてくださっているのではないかという感想を持った。また一つ気になったのは、田無四中の受入制限と柳沢中の近隣の中学校の受入制限とあるが、その2つでは意味合いが違うのではないかと思う。田無四中は施設のキャパが限界なので受入制限を行うということに納得すると思うが、一方で柳沢中の近隣の中学校の受入制限は、キャパの余裕があるのにも関わらず受入制限を行うとした場合、近隣の中学校に行きたいと思っていた保護者や子ども達から不満が出てくるのではないかと思

う。柳沢中で勝見先生を中心に少人数の良さを活かした学校づくりということで進めてくださっており、学校づくりや生徒の姿の中に反映されてきている中で、学校づくりに魅力を出していくことで、そのような声にも答えることができるのではないかと感じた。先程、神山校長先生が「保谷第二小、柳沢中の取組」にとおっしゃっていたが、東伏見小も入れていただきたいという同じ思いでいる。

#### 【向台小】

○委員： 報告書（案）と今後の課題の整理については、これで良いと思う。全市的な適正規模適正配置の検討は大きな問題であり、今後の推移の予測はあらかじめできるものの、何が起こるか分からない。その時々に応じてオール西東京で課題解決を図ることが大事だと思う。その際もこういった会議が行われると思うが、常に軸足は子ども達に置いて考えることが必要だと思う。全ての小・中学校は校長が地域の実態や保護者の実態を踏まえながら、責任を持って教育活動を展開している。そういったところで一つの学校にとどまらず、南部地域で皆様方が手と手を携えて、子ども達のために校長を助けていただきながら進めていくことが必要かと思う。

#### 【柳沢小】

○委員： 報告書（案）のとおりで良いと思う。先程向台小の校長先生が言われたとおり、オール西東京で進めていただければと思う。柳沢小は向台小や保谷第二小、柳沢中と近いので、連携の中の一つに入れていただきたいと思う。

○委員： 文言で一言。「イメージ」という言葉が3箇所使われている。まず12ページ（4）の下から3つ目、「柳沢中の高校への進学状況が良い等、指導内容が良いということであれば指標となるのではないか。卒業後の展望も見据えた学校のイメージアップが必要である。」とあるが、これを公的な文書で書く必要があるのか疑問に思う。これは案だが、「柳沢中の高校への進学状況が良い等、進学内容が良いということが理解されれば、良い指標になるのではないか。」とした方が良いのではないか。また、14ページ（2）方策に対する意見の中で「柳沢中の良いイメージが広がっていくには数年かかる取組になると思うので、市も共に携わってほしい。」とあるが、これも「柳沢中の生徒数増加のために市も共に携わってほしい。」とすると良いのではないか。次に16ページ「より開かれた学校づくり」の中にも「イメージ」という言葉が使われているが、こちらは「地域コミュニティの拠点としての、より開かれた学校づくりに向けた取組を行う。」とすると良いのではないかと思う。

#### 【柳沢中】

○委員： 今、柳沢小から案が出たが、柳沢中の「イメージ」という言葉だが、現実として悲しい出来事があったり、他の方から口さがないことを言われたりする学校であったので、その点で「イメージ」という言葉を使うのは適切だと思う。普通なら必要がないものだと思うが、実際卒業後の展望を見据えたイメージアップも必要であると思うので、今は案の段階だが、本案になっても別に構わないと思う。また、今回決まったことを周知していくわけだが、柳沢中はPTAの方に協議会での話をしており、興味がある方には報告書ができあがった段階で、メール等で目を通していただけるように呼びかけようと思っている。ただ、小学校に在学中の御家庭や、小学校低学年でそこまで思いも及ばない御家庭で、将来田無四中に行きたいと考える方もいらっしゃるかもしれないので、できれば少し早めに結果や市の指針を周知していただければと思う。

#### 【田無第四中】

○委員： 案については概ね良いと思う。保護者の立場での考えになるが、現地施設での対応を行うことで、転用する教室は将来的にも活用できるスペースにするために、防音の面が心配だが、可動壁でも良いと思う。授業に支障がでないような工事や、生徒数が減少した時には元に戻すことも検討していただきたいと思う。大規模改修も含めて生徒

の環境が良くなれば良いと思う。

○会長：主に柳沢小と柳沢中からお話いただいた文言について、事務局よりお答えいただきたい。

○事務局：イメージということについて御意見をいただいたが、イメージについては協議会の前に意見交換を行った中で、生活圏の違いや柳沢中のことがあまり分からないという御意見をいただいた。広い意味でイメージを向上させていくと入れさせていただいたが、御意見をいただいたので、事務局で再度調整させていただきたい。

○会長：協議会終了のお礼。報告書、会議録の最終調整は一任してほしい。

（一同了承）

○事務局：今後の報告書の取扱い。

### 議題3 その他

○事務局：教育企画課長より協議会終了のお礼。

閉会